

平成23年度日本小児外科学会  
第2回定例理事会議事録

日 時：平成23年8月26日（金） 11：00～16：00

会 場：東京八重洲ホール 大会議室301

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（理事・会長）、岩中 督（理事・副会長）、濱田吉則、菫澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、橋本 俊、土岐 彰（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、家入里志、平川 均（以上庶務委員）、田中 潔（機関誌委員会委員長）、山高篤行（PSI Publication Committee 委員長）、奥山宏臣（国際・広報委員会委員長）、川瀬弘一（保険診療委員会委員長）、川原央好（教育委員会委員長）、田尻達郎（悪性腫瘍委員会委員長）、河野美幸（学術・先進医療検討委員会委員長）、増本幸二（データベース委員会委員長）、米倉竹夫（小児救急検討委員会委員長）、村上 聡、堀口裕輔（事務局）

欠席者：吉田英生（倫理・安全管理委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 新理事長挨拶

田口新理事長より就任の挨拶があった。

2. 新理事・新監事挨拶

各新理事・各新監事より就任の挨拶があった。

3. 新庶務委員会委員（理事長付）挨拶

家入新庶務委員より就任の挨拶があった。

4. 第2回定例理事会の議事録署名人として、前田貢作理事、窪田正幸理事が選任された。

5. 平成23年度第1回定例理事会議事録が承認された。

6. 報告事項

1) 第48回学術集会について

土岐前会長より、現在総会収支決算報告について取りまとめているところであるが、有料学術集会参加者数は877名、演題総数614題（うちキャンセル4題）、卒後教育セミナー参加者121名、内視鏡手術セミナー参加者137名、PALS講習会参加者23名であったことが報告された。

2) 理事長報告

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 日本消化器外科学会からのお知らせ「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (2) 日本医学会からの冊子「第78回日本医学会定例評議員会議事録」を受領した。
- (3) 日本医学会からのDVD「第12回日本医学会公開フォーラム 心の病—うつ病を中心として—」を受領した。

- (4) 厚生労働省からの冊子「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 281」を受領した。
- (5) 日本医学会からの冊子「日本医学会分科会一覧」を受領した。
- (6) 日本動脈硬化学会からのお知らせ「事務所移転のお知らせ」を受領した。
- (7) 科学技術振興機構からの冊子「J-STAGE NEWS No. 28」を受領した。
- (8) 日本医療機器産業連合会からの冊子「医機連ニュース 第74号」を受領した。
- (9) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 41No. 8」を受領した。
- (10) 日本医師会からの冊子「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」を受領した。
- (11) 日本医学会からのお知らせ「日本医学会・日本医師会合同公開フォーラムの開催ポスターとプログラム」を受領した。
- (12) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol. 54No. 3」を受領した。
- (13) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構からのお知らせ「人医薬品医療機器薬事戦略相談事業の実施 ポスター」を受領した。
- (14) 外科関連専門医制度委員会からの通信文「第48回総会の議事録」を受領した。  
本総会へ出席した仁尾副理事長より、資料を基に報告された。
- (15) 外科系学会社会保険委員会連合会からのお知らせ「一般社団法人外科系学会社会保険委員会連合設立のご案内」を受領した。  
外科系学会社会保険委員会連合会長補佐である岩中理事より、資料を基に、本会が会員総会の一員となっていることと、外科系学会社会保険委員会連合会総務委員会委員へ川瀬弘一先生を推薦していることが、報告された。
- (16) 日本小児がん学会からのお願い「日本小児外科学会の小児悪性固形腫瘍登録と日本小児がん学会の小児がん全数把握登録事業との連携について」  
田口理事長より、資料に基いて提案され、連携することが了承された。

#### 4. 審議事項

##### 1) 第49回学術集会について（上野会長）

上野会長より、機関誌第47巻第6号へ掲載する第2次会告資料を基に、プログラム案の説明があり、了承された。

また、演題登録期間は平成23年11月1日（火）～平成23年12月28日（水）正午までとする。

なお、国際セッションについては、学会として今後どのような姿勢で臨んでいくかにつき、継続審議事項とした。

##### 2) 第50回学術集会について（岩中副会長）

岩中副会長より、現在の準備状況につき、下記の開催要領が報告され、了承された。

日 程	平成25年5月30日（木曜日）～6月1日（土曜日）
理事会・評議員会	平成25年5月29日（水曜日）
卒後教育セミナー	平成25年6月1日（土曜日）～6月2日（日曜日）
市民公開講座	平成25年6月2日（日曜日）

場 所	京王プラザホテル（東京都新宿区）
	卒後教育セミナー、市民公開講座の場所は未定

3) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、了承された。

平成23年7月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,850名（うち海外4名）、評議員293名、名誉会員57名（うち海外9名）、特別会員59名（うち海外1名）の合計2,259名である。

4) 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より報告・提案があり、以下のように了承された。

(1) 委員会旅費申請について

委員会旅費の支払い方法が、第48回の学術集会終了後より以下の方法へ変更された。旅費・宿泊費については、実費弁済とし、原則として出張が終わった日から1週間以内に申請しなければならない。申請先は学会事務局とし、航空運賃を請求する場合は、航空券の半券または、搭乗を証明するものを清算書式とともに申請することとする。

(2) 機関誌編集・印刷会社について、

将来機関誌の電子ジャーナル化をすることを念頭に、経費削減も兼ねて、委託業者を選定する上で、4社から相見積を取った上で、各社からの説明会を実施した。

当該説明会に出席した財務会計委員会担当田口理事（当時）、機関紙編集委員会担当上野理事（当時）、機関紙編集委員会田中委員長、機関紙編集委員会大野委員、財務会計委員会吉澤委員長、財務会計委員会越永副委員長（当時）の6名による評価（匿名）を基に、審議した結果、中西印刷へ委託していくことで承認された。

なお、学会と学会誌刊行センターとの業務委託契約書について確認し、委託終了に関する問題がないか調査することとなった。

5) 各種委員会メンバーについて

平成23年度各種委員会メンバーについて、田口理事長より提案があり、以下のよう

に決定した。  
また、委員の選任については、前期理事会に引き続き、評議員であることを条件とし、専門医が望ましい旨あわせて説明がなされ、承認された。

委員会名	担当理事	委員長
庶務委員会	仁尾正記	小室広昭
財務会計委員会	仁尾正記	吉澤穰治
機関誌委員会	北川博昭	田中 潔
PSI Publication Committee		山高篤行
国際・広報委員会	田口智章	奥山宏臣
保険診療委員会	窪田正幸	川瀬弘一
教育委員会	松藤 凡	川原央好
悪性腫瘍委員会	前田貢作	田尻達郎

学術・先進医療検討委員会	濱田吉則	河野美幸
倫理・安全管理委員会	菫澤融司	吉田英生
データベース委員会	前田貢作	増本幸二
小児救急検討委員会	松藤 凡	米倉竹夫

続いて、各種委員会担当理事、委員長より委員メンバーの案が提出され、理事会内規および他委員会との調整により、構成メンバーが決定された。

なお、調整にあたっては、田口理事長の要望により、委員の重複を避けること、女性評議員を多く登用することが配慮された。

なお、特別委員会については、下記のメンバーが承認された。

倫理委員会

委員長：菫澤融司

副委員長：吉田英生

委員：田口智章、仁尾正記、新井真理、大野康治、佐々木英之、平川 均  
増本幸二、米田光宏、小林信秋(外部委員)

50周年記念準備委員会

委員長：田口智章

委員：岩中 督、上野 滋、北川博昭、窪田昭男、窪田正幸、小室広昭、土岐 彰  
仁尾正記、菫澤融司、橋本 俊、濱田吉則、前田貢作、松藤 凡、吉澤穰治

式典担当：仁尾正記

記念出版担当：北川博昭

#### 6) 各種委員会業務内容と内規の見直しならびに活動方針について

各種委員会業務内容ならびに活動方針の案が提出され、質疑応答・審議および適宜修正を行った上で、概略以下のように承認された。

##### (1) 機関誌委員会（北川担当理事、田中委員長）

- a. 機関誌の編集・発行
- b. 学会学術集会、秋季シンポジウムへの協力
- c. 論文投稿の促進ならびに内容の充実
- d. 「編集者への手紙」への対応
- e. 委員会報告、地方会・研究会の抄録、学会・研究会のお知らせ、追悼文などの掲載
- f. 年間優秀論文の選定
- g. 著作権の管理
- h. PSI Japanese Issueへの投稿論文の採択
- i. 経費削減、電子ジャーナル化に向けた編集発行業者選定、電子ジャーナルの対応
- j. 投稿論文における利益相反の扱い

(2) PSI Publication Committee (山高委員長)

業務内容につき説明があり、了承された。

- a. 平成24年度論文投稿スケジュールについて
- b. 2012年度 Pediatric Surgery International (Japanese Issue) 投稿に関して、本年度より、他学会で発表している演題でも論文掲載に至っていないものは審査対象とする。
- c. 評価法について

(3) 国際・広報委員会 (田口担当理事、奥山委員長)

a. 国際活動

\*学会で集計しているデータ(新生児手術統計など)を国際的な学術集会で発表する。

\*日本小児外科学会にとって重要な国際学会(アジア小児外科学会等)との必要な連携・提携活動について検討する。

b. 広報活動

学会公式ホームページ(日本語および英語)の更新

(4) 保険診療委員会 (窪田担当理事、川瀬委員長)

- a. 社会保険診療報酬に記載される小児外科関連の記載内容について検討を行い、適正な報酬体系を具現するために厚生労働省に対し必要な要請を行う。この際、外科系学会社会保険委員会連合(外保連)、日本外科学会保険診療委員会、小児関連学会連絡協議会、日本小児期外科系関連学会協議会、日本小児総合医療施設連絡協議会等との連携をはかり、また他学会の動向も考慮する。
- b. 診断群分類の小児外科関連の記載内容について臨床実態に即した検討を行い、診断群分類見直し作業班を通して、厚生労働省に対し必要な要請を行う。
- c. 現行社会保険診療体系で不備または不明瞭な点につき、現行制度内で円滑に運用するために日本医師会の疑義解釈委員会等に申し立てを行う。
- d. 保険診療報酬改定にあたっては、その前後における影響等につき実態調査を行う。
- e. 「外保連手術試案」、「外保連処置試案」、「外保連検査試案」における報酬の算定基準を見直すとともに試案内容についても改定をはかる。
- f. 会員から、社会保険診療上の意見・質問を受け付け、検討する。
- g. その他、本委員会の目的を達成するための業務を行う。

(5) 教育委員会 (松藤担当理事、川原委員長)

- a. 卒後教育セミナー
- b. 全国的な小児外科相互支援システム「困った症例などの相談システム」
- c. マッチングシステム
- d. 学生向けホームページ
- e. 用語集

(6) 悪性腫瘍委員会 (前田担当理事、田尻委員長)

- a. 2010年登録症例の集計作業を行い、その結果を日小外会誌2012年48巻1号に掲載する。
- b. 2001年～2005年登録症例の追跡調査集計を行い、その結果は日小外会誌2013年49巻5

号の掲載を目指す。

- c. 登録率の向上について、登録システムの簡便化など、各登録施設の負担軽減に努力する。
  - d. 年次登録と追跡調査の個人情報保護及び「疫学研究に関する倫理指針」への対応
  - e. 電子登録システムの推進
  - f. 小児がんの全数把握について、日本小児がん学会登録委員会と連携し、本邦における小児がんの全数把握登録について検討する。
  - g. 日本小児血液・がん学会の専門医制度である小児がん認定外科医に関し、会員周知を図り、日本小児血液・がん学会と協力して、その取得を推進する。
- (7) 学術・先進医療検討委員会（濱田担当理事、河野委員長）
- a. 本学会の学術資料に関する収集・調査分析と報告を行う。
  - b. 新生児外科全国アンケート調査と報告を行う。
  - c. 会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可を行う。
  - d. 先進医療の情報収集および会員への情報提供を行う。  
特に、16項目の研究プロジェクトについては、より情報を取得しやすいように国際・広報委員会と検討することとなった。
- (8) 倫理・安全管理委員会（葦澤担当理事、吉田委員長）
- a. 倫理委員会の設置および運営を行う。
  - b. 小児外科領域の安全管理に関する調査、検討を行う。
  - c. 個人情報保護に関するガイドラインの提言を行う。
  - d. 定期学術集会において、安全管理講演会を開催する。
  - e. d. の参加を、日本小児外科学会における専門医、指導医更新の条件とする制度の構築について検討する。
- (9) 小児救急検討委員会（松藤担当理事、米倉委員長）
- a. PALS 講習会を開催する。
  - b. 日本救急医学会小児救急特別委員会主催の小児初期診療 course の開発支援をする。
  - c. 第2回日本小児救急医学会教育セミナー2011 in 北九州への講師派遣をする。
  - d. 関連会議への出席による情報の収集を行う。
  - e. 重症小児外傷患者の把握を行う。
- (10) データベース委員会（前田担当理事、増本委員長）
- a. 本会が扱う臨床データの収集についての効率的なシステム構築
  - b. 本会が収集した臨床データの取り扱いに関する規定の制定
  - c. 臨床データベースの利活用についての提言
  - d. 臨床データベースの利活用についての会員からの申請に対する評価

7) 秋季シンポジウム委員会のメンバーについて（田口理事長）

メンバーとして現理事各位、現監事各位、次期会長 堀本 洋（麻酔科）、  
矢内俊裕評議員(泌尿器科)が承認された。

8) 専門医制度連絡会について（田口理事長）

以下のメンバーが承認された。

理事長	田口智章
副理事長	仁尾正記
施設認定委員会委員長	仁尾正記
専門医認定委員会委員長	黒岩 実
専門医制度庶務委員長	黒田達夫
庶務委員会委員長	小室広昭
財務会計委員会委員長	吉澤穰治

9) 対外委員のメンバーについて（田口理事長）

以下のメンバーが承認された。

日本医学会 評議員	田口智章
連絡委員	仁尾正記
用語委員	松藤 凡
日本専門医制評価・認定機構委員	田口智章
日本専門医制評価・認定機構協議員	仁尾正記
日本小児医療政策研究会	田口智章
小児救急連絡協議会	田口智章、松藤 凡
外科関連専門医制度委員会	田口智章、仁尾正記、黒岩 実
世界小児外科学会連合代表	奥山宏臣
外科系学会社会保険委員会連合	窪田正幸、川瀬弘一、小高明雄
外科関連学会協議会	田口智章、仁尾正記
日本外科学会保険診療委員会	窪田正幸、川瀬弘一、小高明雄
臓器移植関連学会協議会	田口智章
日本小児期外科系関連学会協議会	窪田正幸、川瀬弘一
National Clinical Database	田口智章、前田貢作、黒岩 実、吉田英生

10) 専門医制度庶務委員会のメンバーについて（田口理事長）

以下のメンバーが承認された。

庶務委員長	黒田達夫
庶務副委員長	古村 眞、武 浩志
庶務副委員長補佐	岡崎任晴、湊本康史
庶務顧問	古屋清一、八塚正四、鎌田振吉

11) 秋季シンポジウム小委員会のメンバーについて（田口理事長）

以下のメンバーが承認された。

委員長：仁尾正記

委員：窪田昭男、堀本 洋（麻酔科）、菰澤融司、濱田吉則、河野美幸、松藤 凡、川原央好、矢内俊裕（泌尿器科）、越永従道、池田 均

12) 会員管理システムについて（小室庶務委員長、NTT-PC副島氏）

NTT-PC副島氏より、会員管理システムとNCDとの連携について、本会からの要望に対する回答（現状）について、以下のことが報告された。

■NCDからの回答

- ・本会の要望事項については、現時点では可否判断できない。
- ・NCDとして連携可能なデータや方式を明確にする必要あり。

■今後の予定（いずれもNCD側）

- ・NCDとして各学会との連携範囲や方式の方針を仮決し、各学会への説明を行う予定。
- ・上記の方針に基づき、本会の要望に対する可否を判断する。

■補足

日本外科学会も症例データの集計値だけではなく、明細もほしいと要望しているが、NCD側より許可されていない状況である。

なお、岩中先生より、NCDの基本方針は各学会から要望されている情報を提供することとなっているが、どの程度の情報まで提供可能かは再確認する旨、述べられた。

また、2012年度については、NCDとの連携に齟齬が無いかどうか検証すべく、従前の専門医制度に関する申請方式とNTT-PCが作成準備しているオンライン申請を併用していくことが確認され、その点についてもNCDへ検証するためのデータを要望することとなった。

13) 総合調整委員会について（仁尾委員長）

仁尾委員長より、下記日程にて開催することが、提案され、了承された。

第1回 平成23年11月10日（木） 14:00～17:00

第2回 平成24年1月12日（木） 14:00～17:00

第3回 平成24年3月15日（木） 14:00～17:00

14) その他

田口理事長より、編集業務委託業者が変わることに伴って、その移行をスムーズに行うため、財務会計委員会が開催される際、機関誌委員会担当北川理事に陪席していただくことが提案され、了承された。

理事長 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_